



2019年10月31日

各位

会社名 日清紡ホールディングス株式会社
 代表者名 取締役社長 村上 雅洋
 (コード番号 3105 東証、名証各第一部、札証、福証)
 問合せ先 IR 広報グループ
 (TEL 03-5695-8854)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2019年8月7日に公表した2019年12月期（通期）の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2019年12月期（通期）連結業績予想数値の修正（2019年1月1日～2019年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 540,000	百万円 8,000	百万円 12,000	百万円 7,400	円 銭 44.17
今回修正予想（B）	508,000	500	5,000	2,500	14.94
増減額（B－A）	△32,000	△7,500	△7,000	△4,900	
増減率（％）	△5.9%	△93.8%	△58.3%	△66.2%	
（ご参考）前期実績 （2018年12月期 通期）	416,221	△2,505	1,566	△7,182	△43.26

（注）前期実績は決算期変更に伴い変則的な期間による決算となっています。

修正の理由

当社グループのマイクロデバイス事業において、新日本無線㈱およびリコー電子デバイス㈱は、米中貿易摩擦を起因とする市場環境の急激な悪化等によりスマートフォン販売が低迷した影響を受け通信関連製品の売上が減少したことなどから減収・減益となりました。また、ブレーキ事業において、TMD社は欧州での市況低迷によるアフターマーケット向け製品の売上減に加え欧州および中国自動車販売市場の縮小による新車組付用製品の売上減やドイツ生産拠点再編の遅れによる費用増等により減収・減益となるなど、市況低迷の長期化等により第3四半期に入っても改善傾向が見られないことから、当社グループの売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る見込みです。

業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル110円、1ユーロ120円で予想しています。

（注）この資料に記載されている業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績はさまざまな要因の変動により予想数値と異なる可能性があります。

以上